

新型コロナウイルス感染症の影響を事由とする家計急変において認められる公的支援の例

	制度名	主な実施期間	備考
1	新型コロナウイルス感染症特別貸付 小規模事業者経営改善資金 (新型コロナウイルス対策マル経融資)	日本政策金融公庫	事業主の方向け
2	生活衛生新型コロナウイルス感染症特別貸付 生活衛生改善貸付 (新型コロナウイルス対策衛経) 新型コロナウイルス感染症に係る衛生環境激変対策特別貸付	日本政策金融公庫	事業主の方向け
3	危機対応融資	商工組合中央金庫 日本政策投資銀行	事業主の方向け
4	セーフティネット保証4号 セーフティネット保証5号 危機関連保証	信用保証協会	事業主の方向け
5	小規模企業共済の特例緊急経営安定貸付	(独)中小企業基盤整備機構	事業主の方向け
6	小学校休業等対応支援金 (委託を受ける個人向け)	都道府県労働局	
7	緊急小口資金 総合支援資金(生活費)	社会福祉協議会	
8	厚生年金保険料・労働保険料の納付猶予	厚生労働省 日本年金機構	事業主の方向け
9	国民健康保険料・後期高齢者医療保険料・介護保険料等の徴収猶予	地方公共団体	
10	国税・地方税の納付猶予	国税庁 地方公共団体	

新型コロナウイルス感染症の影響によるもの以外の事由による申込みができる制度の場合、新型コロナウイルス感染症の影響による事由で申し込む必要があります。

上記書類の提出ができない場合、次ページの申告書(【様式】新型コロナウイルス感染症の影響を事由とした家計急変における、公的支援の証明書を提出できない場合の申告書)を提出して下さい。

【様式】 新型コロナウイルス感染症の影響を事由とした家計急変における、公的支援の証明書を提出できない場合の申告書

申込者情報	所属する 学校名				
	申込者 氏名	カナ (姓)		カナ (名)	
		漢字 (姓)		漢字 (名)	
生年月日 (和暦)		昭和・平成	年	月	日生
生計維持者情報	事由が生じた 生計維持者の 氏名	カナ (姓)		カナ (名)	
		漢字 (姓)		漢字 (名)	
	申込者との続柄		<input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/> 祖父 <input type="checkbox"/> 祖母 <input type="checkbox"/> 申請者本人 <input type="checkbox"/> その他 (   )		
生年月日 (和暦)		昭和・平成	年	月	日生
事情欄	右欄に、公的支援の証明書(国・地方公共団体及びこれに準ずるものとして考えられる独立行政法人・特殊法人等が審査の上、給付・貸与・税の猶予を実施しているものの対象者であることを証明するもの)を提出できない事情を記入してください。				

※1 公的支援の証明書については、当該支援を申請中あるいは申請予定である場合には、申請後に改めて提出することも可能です。その場合、この申告書をご提出いただく必要はありません。

ただし、この場合、追って公的支援の証明書をご提出いただかない限り、給付奨学生として認定されません(支給は始まりません)。

※2 公的支援の証明書に代えてこの申告書を提出する場合は、加えて、家計急変の事由が生じた方の減収前の給与等の証明書1ヶ月分及び減収後の給与等の証明書1ヶ月分の合計2か月分を提出することが必要です。

※3 公的支援の証明書に代えてこの申告書を提出する場合は、公的支援の証明書を提出する場合と比べて、審査に時間を要することがあります。